

令和2年7月1日

保護者の皆さま

大阪府立堺工科高等学校

定時制の課程

准校長 平田 眞二

令和2年度 安全功労者内閣総理大臣表彰受賞について

■ 報告

令和2年7月1日、本校定時制の課程が長年に渡り取り組んでまいりました活動に対し、内閣官房長官・菅義偉様より通知をいただき、標記を受賞いたしました。

■ 安全功労者内閣総理大臣表彰とは

政府は、毎年7月1日を「国民安全の日」と定め、この日を中心に国民の安全に関する認識の向上、安全思想の普及徹底と安全水準の向上に顕著な功績のあった個人又は団体を内閣総理大臣が表彰することとなっています。

■ 受賞の対象となった活動内容

・被災地支援

本校生徒は学校設定科目「堺学」において「包丁」や「線香」を製作し、それらを「東北支援プロジェクト」として義援金と共に被災地に届けている。また、現地被災者仮設住宅や学校で包丁砥ぎ作業をボランティアとして行っている。近年では東北に限らず、熊本、岡山をはじめとする全国の被災地への支援活動を展開している。

・防災活動

災害時の停電に備えて、生徒と地元商店街が中心となり、地域一帯の電気を消し、ろうソクの灯りだけの世界を体験するイベント（エコ・キャンドルナイト）や地域住民と共に防災行事を実施している。本校で製作したバイオディーゼル発電機を用いてLEDライトを点灯したり、その電力で電動カートを走らせるイベントも行う。バイオディーゼル発電機は、地元自治会や保護者から廃油の提供を受け発電し、防災訓練のプログラムに組み入れている。

・安全啓発ボランティア

本校生徒が製作した成果物（線香、蜻蛉玉、自転車用木製古墳型反射板、古墳型お香）を個々パッケージし、その表面に啓発文を貼り付け、府民に配布するボランティア活動を実施している。啓発文の例は、「交通安全」「振り込め詐欺に対する警鐘」「献血の協力」「自転車に反射板」等である。

■ 成果

被災地の支援を継続的に行うことにより、被災者より過分な感謝をいただき生徒が自信を持てるようになった。また、地域連携事業を通し、大人たちと協働する中で、地元堺への誇りを持てるようになり、働くことや物づくりの意義を理解し、成長につながった。そして、防災・防犯・自助・公助の意識が高まった。